

地域とJAを結ぶ、心ふれあう情報誌



# 苗彦

2023

vol. 311

ふれあいだより



 JA京都 **にのくに**  
<https://ja-kyotoninokuni.or.jp>



ja\_kyotoninokuni



公式LINEアカウント  
「ふれ愛」





# 第26回通常総代会を開催 全議案が承認される

6月27日(火)、綾部市の京都府中丹文化会館にて、第26回通常総代会を総代606人のうち、556人(書面議決・委任状含む)と第3号組合員総代の出席で開催しました。

総代会では、阿波伊佐美氏(舞鶴西支店管内)と澤田重子氏(八田支店管内)を議長に選出し、提出された4議案すべてが承認されました。

総代会は、京都府知事・福知山市長・綾部市長・舞鶴市長・京都府農協中央会長を来賓に招き開会しました。

来賓の祝辞の後、選任された2人の議長の議事進行で2022年度の事業報告や2023年度の事業計画など全4議案が上程され、総代の皆さんの慎重な審議の結果、上程された議案すべてが承認されました。

併せて、当JAの自己改革の取り組みや、出資型農業法人「アグリサポート夢」の昨年度の事業内容などが報告されました。



議長を務めていただいた阿波さん(左)と澤田さん(右)

## 第26回通常総代会提出議案

- [第1号議案] 第26年度(2022年度)事業報告及び剰余金処分案について
- [第2号議案] 定款の一部変更について
- [第3号議案] 第27年度(2023年度)事業計画の設定について
- [第4号議案] 第27年度(2023年度)における理事及び監事の報酬について

全て原案通り承認されました

### 報告事項

1. 第26年度(2022年度)貸借対照表、損益計算書、注記表、貸借対照表等の附属明細書及び部門別損益計算書について
2. JA京都にのくに自己改革の取り組みについて
3. 株式会社アグリサポート夢の第7年度(2022年度)事業報告、貸借対照表、損益計算書について
4. JAバンク基本方針の変更について



# 第26回 通常総代会を終えて



先般6月27日に開催しました第26回通常総代会は、総代の皆さまの慎重なご審議の結果、全議案とも賛成多数で可決終了しました。

言うまでもなく、総代会はJAの最高意思決定機関として、「協同活動の成果と目標」や「自己改革の取り組み」を総代の皆さまと共有・評価・改善につなげていく場であり、今年も総代会をはじめ地区別総代会等懇談会や提出いただきました「意見書」にて、JA事業・運営に対するご意見を頂戴いたしました。いただいた貴重なご意見・ご要望は今後の事業運営に活かして参りたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。

JAは地域に根差した組織としてあり続けるために、支店を核とした組合員・地域の皆さまと共に取り組んでいます。支店活動活性化活動などの協同組合活動と併せて、持続可能な経営基盤の確立が必要不可欠となります。現在直面する経営課題に対して、聖域なく改革に取り組み解決に向けた不断の取り組みを継続いたします。

JA運動の王道となる組合員の期待と負託に応えるため、対話と共有を図り、永続的な組織存立に向けて変革と成長を実践し、邁進する覚悟ですので、組合員の皆さまには、一層のJA運動へのご結集と事業へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2023年7月

京都丹の国農業協同組合

代表理事組合長 迫沼 満壽

さて、昨年は当JAが誕生して25年の節目を迎えました。この節目の年に万願寺甘とう部会協議会が農林水産祭園芸部門において内閣総理大臣賞を受賞、全国茶品評会において農林水産大臣賞、産地賞を受賞するなど、生産者の皆さまの努力が実を結んだ年となりました。他方、激変する世界情勢の影響で、「食の安全保障」がクローズアップされました。当JAでは、一昨年よりJAグループの提唱する、自分たちが食べる食料は、できるだけ自分たちの国でつくる「国産国産」の考え方をセミナーや広報媒体を通じて発信するとともに、地域の生産者の皆さまと共に運営する農産物直売所「彩菜館」など、「国産国産 実現に向けて取り組んでまいりました。



例年、組合員の皆さまにお届けいたしております、協同活動の成果と目標《概要版》につきましては、今年度より当組合のホームページに掲載いたしておりますので、是非ご覧ください。  
なお、冊子をご希望の方は、各支店窓口にて備え付けておりますので、お近くの支店にお問い合わせくださいようお願いいたします。

## 広報誌「夢彦ふれあいだより」をリニューアルしました

今月号より、本誌「夢彦ふれあいだより」の誌面をリニューアルしました。  
新たに、当JAに関わる様々な“ひと”をご紹介します「にのくにびと」、地域の元気なお子さんをご紹介します“にのくに Smile Shot”、管内のさまざまな情報をトピックス形式でお届けする“にのくに往来”など新コーナーを設けました。  
併せて、森林資源の保護や紙のリサイクル時の負担軽減の観点から、冊子のページ数削減とホッチキス止めを取りやめ、より濃縮した誌面に生まれ変わりました。  
これからも「夢彦ふれあいだより」をよろしく願いたします。

※本誌は公式 LINE アカウント「ふれ愛」でも配信しております。表紙の二次元コードからぜひご登録ください。

## ■ 夏の夢彦フェア

### 最新の農機具や生産資材を展示

6月23日と24日の2日間、綾部市のJA全農京都北部物流センターにて「夏の夢彦フェア」を開催しました。会場には最新のトラクターやコンバイン、田植え機などの大型農機具をはじめ、管理機や畔草刈り機などが展示され、来場者は試乗し担当者に機能などを確認していました。また、肥料や生産資材が当日限りの特別価格で提供され、多くの来場者が買い求めています。



多くの来場者で賑わいました



最新の農機具がずらり

## ■ 男性のための初心者料理教室「おじさまの腕まくり」

### 「オムライス」など3品に挑戦

6月3日、綾部市の中央公民館調理室にて男性初心者料理教室「おじさまの腕まくり」の第1回講座を開催し、管内の男性組合員13人が講師の小松美香さんの指導の下、「オムライス」、「基本のポタージュ」、「キャベツのアチャール」の3品に挑戦しました。

参加者の皆さんは慣れない手つきながらも、和気あいあいと調理を進めました。

次回は「はじめての揚げモン」をテーマに万願寺甘とうのフリッターに挑戦する予定です。



一人ひとりが分担して調理を進めました

## ■ AED(自動体外式除細動器)

### 各拠点設置の機器を更新

5月25日に、当組合各拠点に設置しているAED(自動体外式除細動器)をJA共済連京都府本部の協力で更新しました。

更新に合わせて大江支店では、職員と支店活動活性化委員会を中心に救命救急講習を受講。AEDの設置があり、普通救命講習を受講した者がいること等の要件を満たしたことから福知山市消防本部より福知山市救急まちかど安心ステーション標章(AEDステーション)の交付を受けました。また三和支店では、防犯・救命救急講習の一環として、三和駐在所の木下警部補より救命救急講習を職員が受講しました。



設置した福知山市救急まちかど安心ステーション標章(大江支店)



職員がそれぞれ手順を確認しました(三和支店)

## ■ プレミアム万願寺甘とう

### 全国各地に出荷始まる

先月号でご紹介しました新商品「プレミアム万願寺甘とう」の出荷が、6月21日から始まりました。生産者が「これぞ！」と選び、さらに検品場の熟練選果員が目利きし厳選した最高峰の万願寺甘とうを2段の桐箱に8本ずつ、16本詰めてクール便にてお届けしました。プレミアム万願寺甘とうは10月10日まで出荷する予定です。



多くの取材を受けました

## ■ 女性総代セミナー

### 新たなお米の魅力学ぶ

6月20日、あやべ・日東精工アリーナにて「女性総代セミナー」を開催しました。セミナーでは安達常務による自己改革の説明の後、上林在住の宮園ナオミさんを講師に招き、「『はじめよう米粉生活』～美容と健康に役立つわけ～」と題して講演いただきました。講演では、グルテンフリーの米粉の魅力を紹介され、実際に米粉を使った蒸しパンを試食しました。



講演いただいた宮園さん

## ■ みすずフェスタ

### 閉校となった小学校に多くの人が集う

6月4日、2021年3月に閉校となった旧美鈴小学校にて、懐かしさの残る小学校に地域の人々が集い、賑わいを作り出すことを目的に「みすずフェスタ」が開催されました。フェスタでは、フリーマーケットやワークショップが開かれ、女性部大江支部が“母ちゃん市”を出店し、新鮮な野菜を買い求める来場者で賑わいました。



地元野菜を買い求める来場者

## ■ 豊里支店活動活性化委員会

### 児童がさつまいもの定植を体験

豊里支店活動活性化委員会は5月24日、管内の組合員圃場に豊里小学校の児童を招き、さつまいもの定植体験を実施しました。児童らは活性化委員と共に等間隔に並べられたさつまいものつるを植え付けていきました。

植え付けたさつまいもは活性化委員が管理し、秋に児童たちが収穫を体験する予定です。



今から秋の収穫が楽しみです

## ■ 特殊詐欺防止啓発活動

### 来店者に注意喚起を行う

舞鶴西支店は6月15日、舞鶴警察署や防犯推進委員と協同で、支店前にて特殊詐欺防止に向けた啓発活動に取り組みました。来店者に啓発チラシやパネルを使用して、ATMの引き出し限度額を引き下げておくことで、万一特殊詐欺被害に遭った場合でも被害額を抑えることができることを説明し、引き下げ手続を促しました。



パネルを手に啓発活動を行いました

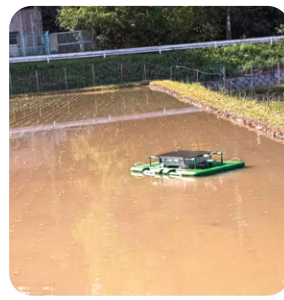
## ■ アイガモロボット

### 除草の手間と農薬使用を抑制

当組合でも、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を意識した低農薬・低化学肥料での水稻栽培に向けた研究を進めています。その一環として、雑草の発生や生育を抑えることを目的に、「アイガモロボット」を試験導入しました。

アイガモロボットは、田んぼの中をスクリーで土を巻き上げながら規則的に遊泳し、水を常時濁らせることで水中への光を遮り雑草の発生や生育を抑えます。ロボットには太陽光パネルが装備されているので、燃料等の補給も不要で、スマートフォンなどで遊泳経路も確認できます。

今後は、運用データの蓄積などを行い、研究を深めていく予定です。



水面をスイスイ泳いでいきます

## 祖母の背に学び

## 舞鶴茶をみらいにつなぐ



一級河川・由良川を有する加佐地区。川沿いの砂地や霜が降りにくい気候から、茶栽培に最適な土地とされ、昭和10年頃から茶業が始まった。氾濫による水害も多いこの地域で、戦前から続く植和田園の二代目である植和田英子さん(81)に、その歴史とこれからお話を伺いました。

### 舞鶴茶と歩んだ歴史を 次世代に バトンタッチ

植和田英子さんが切り盛りする植和田園は、全国茶品評会かぶせ茶の部で5年連続産地賞を受賞する舞鶴市においても、有数の茶園として知られる。約60年前、

そこに嫁いでから現在まで、茶農家の減少や度重なる水害など、あまたの局面に立ちながら、茶園を守り抜いてきた植和田英子さん。

最近では、コロナ禍の影響で激減したインバウンドによる日本茶全体の需要の落ち込みや、ウクライナ戦争をはじめとした世界情勢の変化により高騰する農薬や肥料代などの危機に見舞われた。そうした状況でも、英子さんは舞鶴茶の歴史を途絶えさせまいと後継者の育成に務める。「ターナー農業者の指導には力を入れてきました。全員とはいかないけれど、定着して頑張ってくれている人もいます」。そう言いつつ英子さんはまるで我が子の成長を思い出すように、目を細め、過去に育てた茶農家を何人か話してくれた。英子さんは、農業をやりたい人向けのマッチング会に参加し、その後のサポートにも当たるなど、地域の未来を考え、行動してきたリーダーでもある。

そんな英子さんの背を見て育

ち、植和田園の承継に名乗りを上げたのが孫の植和田悠基さん(26)。悠基さんは国立大学を卒業後、3年前に就農し、英子さんのもとで学ぶと同時に、茶業研究所で1年研修。その経験をもちに、茶の蒸し加減を見極め、付加価値のあるてん茶の生産に成功している。そんな悠基さんは舞鶴茶のこれからについて「やぶきたを改植して新品種を増やし、もっと高値で売り出したい。耕作放棄地の改植の機会も、うかがっている」と力強く話す。

### 自然体で向き合い 農業の未来をつなぐ 新しい後継者

悠基さんに農家を継いだ理由を尋ねると、意外な答えが返ってきた。「生き物が好きで、自然に囲まれて暮らしたいなど。育てるのも好きで、例えば珍しいカエルを飼っています。それが会社勤めでは難しいこと。農業というライフスタイルが僕には合っているとと思ったんです」と笑う。

農業を守るといふ使命感がないわけではない。しかし、こうした自然体で農業を継ぐという人が増えることが、何よりも重要ではないか。

世代を越え、想いをつなぎながら植和田園の歴史のバトンはつづく。



女性活躍時代に先駆けて活躍した植和田英子さん。「女性農業者が増えると地域の活性化につながる」と話す。



乗用型茶葉摘採機で茶葉を摘みとっていく悠基さん。



英子さんが企画・販売する商品。色とりどりにデザインされたパッケージが目を引く。



ブランド浸透を図ってロゴマークを作成。舞鶴の鶴と茶葉をモチーフにデザインした。



〈福知山市〉  
**梅林 ひなた ちゃん**

ひなたが生まれてから3年の月日が経ちました。よく食べ、よく遊び、よく眠り、大きく成長した姿に嬉しさと頼もしさを感じています。これからも健康に、強く、優しく成長して欲しいと願っています。  
 お父さん・お母さんより



**お子様募集!!**

にこにこ SmileShotに掲載する地域の元気なお子さんを募集しています。掲載させていただいた方には、掲載写真をパネルにしてお送りします。

対 象：0歳から6歳までの管内在住のお子様（小学校入学未満）

応募方法：件名に「Smile Shot 応募」と明記し、下記メールアドレスまで必要事項をご記入の上、写真を添付してお申し込みください。（ninokuni@ja-kyotoninokuni.or.jp）

必要事項：氏名・ご住所・電話番号・お子様との続柄・お子様の名前・お子様の年齢・お子様へのコメント

# Art Gallery



綾部市 大槻郁代さん



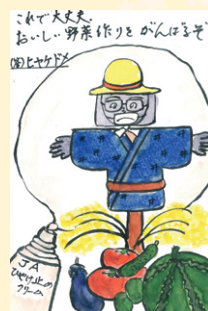
綾部市 塩尻みどりさん



舞鶴市 井上明穂さん



舞鶴市 田端みつ子さん



舞鶴市 永野功子さん

**今月の一枚**



ののくに往来でもご紹介した、男性初心者料理教室「おじさまの腕まくり」での一枚。オムライス（下）に基本のポターージュ（左上）、キャベツのアチャール（右上）の三品。特にご飯を炊くところから始めたオムライスは絶品でした。

ご近所さんにスイカの苗を6株いただきました。「黒いスイカの苗やで」と言われ、楽しみにお世話していますが、この低気温ではツルが伸びません。次回にはスイカが6個位なっているかな。JAのお兄ちゃんにも1個あげたいな。

舞鶴市 田中 紀代子さん

暑い日には農作業も大変で、できるだけ朝早いうちに行っています。午後は休養して体力温存。明日に備えるようにしております。自分勝手な言い分ですかネ？

福知山市 大槻 美徳子さん

最近は、戦争、地震、高齢者運転の事故、闇バイト：嫌な事ばかりです。このクロスワードパズルをもらって、何もかも忘れ一目散に。（すぐ分かんない）あ、すっきりした。

**伝言板**

綾部市 山下 志真枝さん

農業に関する  
様々な質問に  
お答えします

# 営農経済部の 野菜づくり教室



## シヨウガ

シヨウガは栄養価の高さから生薬としても使われています。歴史は、日本では、古事記に記載があるほど古くから活用されています。生のシヨウガだけでなく、乾燥シヨウガや加熱したシヨウガを使い分けていた記録が残っています。

### 【種シヨウガの準備】

種シヨウガの良し悪しで初期生育が決まるといっても過言ではありません。表皮がみずみずしく、色・ツヤが良く、しっかりと芽がついているものを選びましょう。

### 注意

スーパーで売っているシヨウガは、食用のため、芽が削られている。冷蔵保存で弱っているなど、生育に適さない状態が考えられるので、通販などで売られている栽培用の種シヨウガを購入すると確実に育ちます。

### 【土入れ】

作付の2〜3週間前に堆肥をします。投入量は、1aあたり50〜100kgが目安です。作付の2週間前には、苦土石灰を1aあたり10kg投入し、酸性度をpH5.5〜6.0に調整します。作付の1週間前には、1aあたり20kgののくに有機を投入します。最後に畝立てをします。畝立てをすることで、水はけや通気性が高まったり、作土層が厚くなることで、根張りが良くなるなどの利点があります。水はけが悪い畑では、20〜30cmまで高くすると排水性が改善されます。

### ポイント

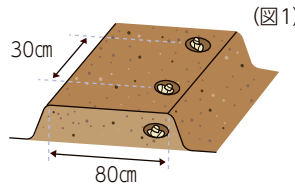
石灰資材と肥料のアンモニアを含んだ窒素肥料を同時に施すと、窒素分がアンモニアガスとなって逃

げてしまいます。また、アンモニアガスが作物を傷めてしまうこともあります。

### 【植え付け】

適期は4月から5月ですが、遅霜の心配がなくなつてから植ええます。種シヨウガを、1片が50gぐらいの大きさにするように手で分割します。小片は2〜3個ずつまとめて植ええます。株間30cmで深さ15cmの植穴を掘り、種シヨウガを寝かせて植ええます。覆土した後、土が少し盛り上がる状態にします。シヨウガはたくさん水が必要な野菜なので、水をたっぷりやります。(図1)

種シヨウガの芽を上にして、植え溝の中30cm間隔で1個ずつ置き、土をかけて水をやります。



### ポイント

シヨウガは低温だと発芽に時間がかかります。早く発芽させたい場合は、マルチを敷いて地温を上げます。芽が出たらマルチに穴をあけて芽を出しましょう。

### 注意

低温ではなかなか芽が出ないので、早どりするには、芽出しをしてから畑に植ええます。適温は25〜30度です。

### 【マルチング】

シヨウガは乾燥を嫌うため、夏は株元に稲わらや刈草でわらマルチをし、土の乾燥を防ぎます。(図2)

(図2)



### 敷きわら・灌水

シヨウガは乾燥に弱いので、敷きわらが乾きすぎているときは、水をたっぷりやりましょう。

### 【日除け】

シヨウガは適度な日陰を好むため、真夏の強い日差しがある時期は遮光ネットで日除けをし、直射日光から守りましょう。

### 【追肥】

3回実施します。燐硝安加里を使う場合は、1回の投入量は、1aあたり2.5kgです。畝の両側にばらまいて軽く土寄せをします。1回目は、草丈が約15cmになったときにまきます。2回目は、草丈が30〜40cmになったときにまきます。2回目の1か月後に3回目をまきます。

### 【収穫】

シヨウガの種類によって収穫時期が異なります。矢シヨウガは、葉が3〜4枚開いたところ古根を地中に残したままかきとります。古根とは、新シヨウガをとったあとの種シヨウガのことです。葉シヨウガは、新しい根が少し肥大したところを抜き取ります。根シヨウガは、晩秋になり、根が十分に肥大してから掘り取ります。

### 【シヨウガの保存方法】

秋に収穫したシヨウガは常温で長く保存することができますが、夏場は気温が高いため、冷蔵で保存します。保存する場合は、20度を超えると発芽する可能性があるため、15度を保てる場所での保存しないといけません。保存している間に腐る可能性があるため、ご家庭で栽培した場合は早めに召し上がることをおすすめします。

6月号P10に誤りがありましたのでお詫びするとともに左記の通り訂正いたします。

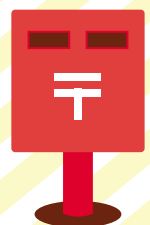
### 【農業散布】

誤…ダユニール1000  
正…ダユニール1000

野菜に関する  
疑問・質問  
大募集!!

野菜づくり教室は、農業に関する様々な質問にお答えするコーナーとなりますので、ハガキやEメールでどしどしお寄せください。皆さまからの声をお待ちしております。

〒623-0053 京都府綾部市宮代町前田 20 番地  
JA京都にのくに 営農経済部 野菜づくり教室 係  
einoukikaku@ja-kyotoninokuni.or.jp





# 女性部

joseibu-dayori

# だより



6/1

## JA女性部 京都市女性部との交流会

ふっくら  
米粉シフォン  
ケーキ



舞鶴市まなびあむで、米粉加工グループ「ゆめっこ」と京都市女性部との交流会が行われました。交流会では「米粉シフォンケーキ」と「米粉のコーヒーロール」作りをしました。

皆さん出来上がりに大満足。ふっくらと焼きあがったシフォンケーキには思わず大歓声があがりました。



「ゆめっこ」の指導のもと作業が進められました



竹原部長と「ゆめっこ」の皆さん



皆さん出来上がりに大満足

6/15

## グループ長研修会

研修会では、昨年女性部員が応募された、「ごはんがすすむおかずレシピ」の中から『万願寺甘とうの肉みそ包み』と『万願寺甘とうのはんぺん詰め』と家の光6月号掲載『ナスとタコの甘酢ソース』と7月号掲載『新ゴボウのうまだし煮』デザートには、エコーブクールゼリーの素を使った『オレンジゼリー』の5品を作りました。今後、各ブロックの支部長研修会でも料理教室が予定されています。



夏野菜  
たっぷり料理  
の完成



3班に分かれて作業開始



手際よく、あっという間に完成



試食タイム

### 家の光8月号 読みどころ

家の光 8月号 August 2023

特集  
孫との  
つきあい方

イマドキ

小さな節約アイデア  
豆蔵があれば一

コロナ禍でなかなか会うことができなかった家族が帰省するようになると、孫の成長が楽しみな反面、どう接しづらいのか戸惑うこともあるかもしれません。夏休みの帰省シーズンに向けて、孫との遊び方や困ったときの対処の仕方まで、令和版「孫育」のノウハウを伝えます。

## イマドキ 孫とのつきあい方



変わった？ 変わらない？

食料品、生活日用品、電気・ガスなどの光熱費など、暮らしまわりの物価高騰が続く中、夏の冷房などの水道光熱費、スマホなどの通信費、食料品や日用品などの買い物物の仕方の工夫など、ますますできる節約実践アイデアと家計管理についての考え方を伝授します。

## 物価高に負けない！ いますぐできる 節約アイデア



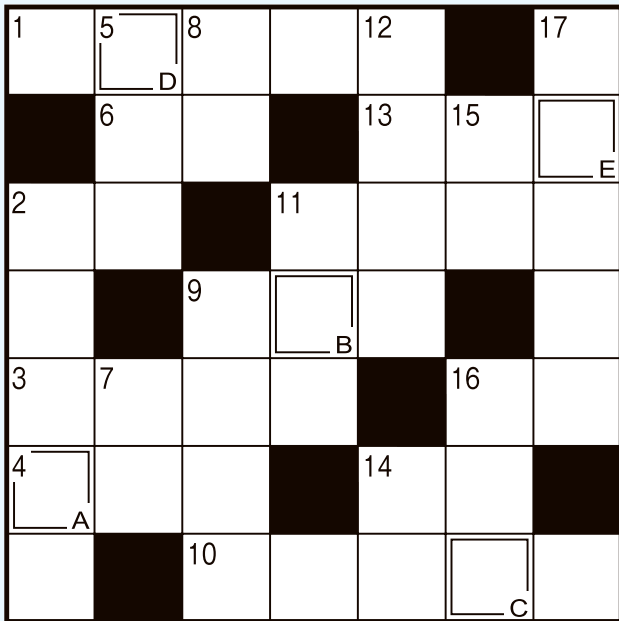
今月の表紙：：袖希礼音さん

※「家の光」は書店では販売しておりません。最寄りのJA京都のくに各支店・広域農経経済センターまでお問い合わせいただくか、直売所「彩菜館」でお買い求めください。

# クロスワードパズル



締め切りは 7月19日(水)  
【当日消印有効】発表は8月号



## 解き方

タテ・ヨコを全部解き、A→Eの二重ワクの文字を順に並べてできた言葉が答えです。



## タテのカギ

- ② パラシュートともいいます
- ⑤ 法やルールなどに背くこと
- ⑦ イタリアの1つ前の通貨単位
- ⑧ 「あかつき」や「白鳳」などの品種があります
- ⑨ 日暮れ頃にザーッと降ります
- ⑩ 読売ジャイアンツの本拠地は東京——です
- ⑫ 植物に水やりをするときに使う道具
- ⑭ 陰(いん)の反対語
- ⑮ 毎度、バカバカしいお笑いを——
- ⑯ 紙幣や貨幣を入れます
- ⑰ カレンダーに「FRI」と書かれていることも

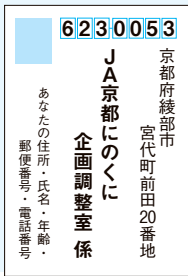
## ヨコのカギ

- ① 京都の五山送り火で、最もよく知られた形の送り火
- ② エビネもカトレアもこの花の仲間
- ③ 肥料の3要素の1つ。元素記号はK
- ④ どのドレッシングで食べようかな
- ⑥ 骨切りをする細長い魚
- ⑨ イタリアの現在の通貨単位
- ⑩ 山の頂上と麓の間
- ⑪ 一緒に暮らしています
- ⑬ 突破して決勝に進みます
- ⑭ 夕空に輝く——の明星
- ⑯ 歌謡曲で一番盛り上がる部分のこと

## おたより募集

郵便はがきまたは、Eメールにクイズの答えを下記要領でご記入の上、ご応募ください。正解者の中から抽選で、10名様に商品券(1,000円)をプレゼントいたします。また、「伝言板」と「アートギャラリー」に掲載分も商品券(500円)をプレゼントさせていただきます。

メールアドレス / [ninokuni@ja-kyotoninokuni.or.jp](mailto:ninokuni@ja-kyotoninokuni.or.jp)  
Eメールで応募の際は**件名に「クロスワード応募」とご記入ください。**



- ① クイズの答え
  - ② おたより・イラスト
  - ③ ご意見
  - ④ その他
- ②～④については、各コーナーでご紹介する場合があります。



※お寄せいただいたハガキ・Eメールの個人情報につきましては、各コーナーの目的以外には使用しません。  
※氏名の掲載を希望されない方は名前横にペンネームをお書きください。



※クロスワードパズル  
当選者の発表は  
賞品の発送をもって  
代えさせていただきます。

## ふれあいスタッフ

綾部 荒川 沙貴 (左)  
支店 山口 実穂 (右)

### 公的年金お受取り手続きのお手伝いをいたします

私たち2人は綾部ブロック(上林支店・綾部支店・豊里支店・何北支店・八田支店)のマナーアドバイザー(MA)担当として、公的年金の裁定請求(年金開始)のお手続きや、JAバンクへの指定口座変更など年金に関わるさまざまなお手続きのお手伝いをいたします。  
身近な年金担当として、気軽にお声がけください。



## 5月末 事業取扱高

● 組合員数 20,170人	● 貯金残高 1,639億8,833万円	● 長期共済保有高 4,537億7,452万円
	● 貸出金残高 398億3,341万円	● 購買品供給高 1億7,255万円
	● 長期共済新契約高 19億6,407万円	● 販売品取扱高 4,783万円

## 理事会報告

### 協議事項

- ① 第26回通常総代会提出資料
- ② 第26回通常総代会の招集および運営
- ③ 会計監査人の監査報酬
- ④ 余裕金運用規程の一部改正
- ⑤ 2023年度余裕金運用の変更
- ⑥ 2023年度余裕金運用方針・計画の変更
- ⑦ 役員の兼職
- ⑧ 組合員加入促進方策
- ⑨ 利益相反取引

### 報告事項

- ① 月例報告
- ② 2023年4月末事業実績の概要と2022年度支店等収支
- ③ 共同乾燥施設の利用料設定(麦)
- ④ 夏の夢彦フェア
- ⑤ プレミアム万願寺甘とうの販売
- ⑥ ATM再編の状況
- ⑦ 共済金の支払い状況
- ⑧ 2023年度第1四半期余裕金運用方針・計画の変更
- ⑨ 余裕金の運用状況
- ⑩ 余裕金運用にかかるリスク情報
- ⑪ 金融円滑化の対応状況
- ⑫ 不良債権状況報告書
- ⑬ マネー・ローダリング及びテロ資金供与対策に関するガイドラインに基づくギャップ分析
- ⑭ JAバンクの内部管理態勢構築にかかる指針の制定
- ⑮ 2022年度資産査定の結果
- ⑯ JAの「経営状況に関する事項の報告」
- ⑰ 女性総代セミナーの開催
- ⑱ 組合員講座「にのくに未来塾」の募集
- ⑲ 組合員の加入脱退

## 組合員資格確認のお願い

当JA定款により、組合員加入申し込み時の提出書類記載事項に変更があった場合や、組合員資格に変動があった場合は、その旨を届け出ていただくことになっています。

つきましては、組合員資格・氏名・住所・電話番号等の届出事項に変更・修正があった場合は、当JA支店窓口へお申し出いただきますようお願いいたします。

現在の組合員資格については、「2022年度 出資配当および出資金残高のお知らせ」にてご確認ください。

詳しくは最寄りの支店までお問い合わせください。

## あとかき

今月号より誌面を一部リニューアルした「夢彦ふれあいだより」はいかがだったでしょうか？6ページの「にのくにびと」をはじめ、地域の元気なお子さんを紹介する「にのくにSmileShot」など、より広く組合員や地域の話題を皆さまにご紹介しますので、これまで同様、「夢彦ふれあいだより」をよろしくお願います。  
(ヒロ)

## ATMの廃止について(ご報告)

永らくご利用いただきました吉美 ATM(綾部市里町敷田1)を**2023年7月31日(月)15:00をもって廃止**させていただくこととなりました。廃止に伴いご利用の皆さまには大変ご不便をお掛けいたしますが、**綾部市立病院ATM・最寄りの支店ATM、または提携金融機関※1※2や、ゆうちょ銀行のATM※2、コンビニエンスストアなどに設置のATM※2**をご利用いただきますようお願いいたします。

今後も、より一層のサービス向上に努めてまいりますので、何卒ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

**廃止するATMコーナー** 吉美 ATM(綾部市里町敷田1)

**ご利用停止日時** 2023年7月31日(月)15:00

※1 提携金融機関とは、都銀・地銀・第二地銀・信金・信組等になります。

※2 JAバンク以外のATMでは手数料がかかる場合があります。また、一部お取引できない金融機関もあります。詳しくはJA各支店窓口までお問い合わせください。



## おたよりをお待ちしています!

夢彦ふれあいだよりでは、読者の皆さまの声を多くご紹介したいと考えています。身近なエピソードや地域の話題、イラストや写真など、どしどしお寄せください。本誌に採用させていただいた方には農産物直売所「彩菜館」などでご利用できる「にのくに商品券」をプレゼントします。

〒623-0053

綾部市宮代町前田20

JA京都にのくに 企画調整室

Eメールでもどうぞ

ninokuni@ja-kyotoninokuni.or.jp

※作品・写真は返却できません。おたよりは誌面に掲載する場合があります。  
※作品・写真はInstagramで紹介させていただく場合があります。  
※応募で記載された個人情報「掲示板」への掲載、プレゼントの発送以外には利用いたしません。



# JAバンク 優遇ポイントサービス

JAバンク優遇ポイントサービスとは、JAバンクとのお取引内容をポイントに換算し、個人のお客様のATM入出金手数料や個人ネットバンク振込手数料の優遇を行います。

たとえば

組合員の方は

提携ATMの  
入出金手数料が  
月2回まで無料

個人ネットバンク  
振込手数料が  
月1回まで無料

さらに

給与や賞与の受取口座にJAの貯金口座を指定いただいた場合  
(1カ月間に5万円以上のご入金が1件以上)  
または、国民年金や厚生年金など各種年金の受取口座にJAの貯金口座に指定いただいた場合  
(1年間に1回以上入金があるもの・対象となるのは実際のご入金後となります)

提携ATMの  
入出金手数料が  
月5回まで無料

個人ネットバンク  
振込手数料が  
月2回まで無料

優遇ポイントサービスの詳しい内容は、最寄りの支店までお問い合わせください。

提携ATM：セブン銀行・ローソン銀行・イーネット(ファミリーマートなど)・ゆうちょ銀行

## 米生産者の皆さまへ

### ～産米の出荷は全量JAへ！～

JAへ産米の出荷を予定されている組合員の皆さまは、2023年7月末までに、必ず「出荷契約書」の提出をお願いします。

JA京都にのくには、組合員の皆さまから出荷いただく産米の有利販売に向け、より一層の販売活動に努めています。米を取り巻く環境が大変厳しいなか、単価の確保を目指すには、正確な集荷規模を把握することが非常に重要となります。つきましては、出荷を予定されている方(施設利用の方含む)は7月末までに最寄りの広域営農経済センターまたは地域農業振興係まで、必ず「出荷契約書」の提出をお願いします。

**\*なお、7月末までに未提出の場合は、買取価格が安くなる場合がありますのであらかじめご了承ください。**

\*施設利用(全量保有米)の方も提出をお願いします。

## 無料法律相談会開催(予約制)

組合員の皆さまが日常生活で直面するあらゆる法律の相談にお答えします。

綾部  
会場

と き：2023年8月29日(火) 13:00~16:00

ところ：JA京都にのくに本店  
(綾部市宮代町前田20)

福知山  
会場

と き：2023年9月5日(火) 13:00~16:00

ところ：JA京都福知山支店  
(福知山市字篠尾小字長ヶ坪115-12)

※当組合福知山支店ではございませんのでご注意ください。  
担当弁護士：弁護士法人小西総合所属弁護士

2023年8月18日までに

企画調整室(Tel:0773-42-5566)までご連絡ください。  
後日お申込書を送付させていただきます。

## 2024年度 職員募集 のお知らせ

来春、大学・短大・専門学校等を卒業される方、社会人として経験のある誠実で活力ある人材を募集しています。

JAは一般企業と違い、組合員が出資し、協同活動によってお互いの利益を高めていくという、人と人とのつながりを大切にしている組織です。地域の農業を振興し、地域社会に貢献するとともに、全国段階まで連合組織が整備された日本中に仲間が広がる団体でもあります。また、厚生年金、健康保険、退職金制度等、社会保障の制度も整備しています。

地元での農業と農家のために、やる気と熱意のある方の応募をお待ちしております。

詳しいことは、右記までお問い合わせください。

京都丹の国農業協同組合  
企画管理部 人事総務課  
〒623-0053 京都府綾部市宮代町前田20

募集対象

来春大学、短期大学、専門学校を卒業される方、及び、40歳(昭和58年4月2日以降に生まれた方)までの社会人経験者

募集人員

若干名

受付期間 随時

応募書類

(1)履歴書(学校所定またはJIS規格)  
(2)各学校所定の書類  
(卒業見込証明書、成績証明書)

一次試験

筆記、適性検査・作文

二次試験

面接 一次試験合格者に文書で通知いたします。

採否の決定

決定次第通知いたします。

TEL 0773-42-2092

E-mail jinji@ja-kyotoninokuni.or.jp

